



2019年3月版(第68号)  
まちづくりNPO法人ぐるっと緑道  
横浜市都筑区中川 1-18-5  
フィットネスハウス パレット中川1F  
発行責任者  
塩入広中(090-7275-1361)  
<http://guruttoryokudo.jp>

## 山崎公園里山保全工事始まる

昨年作られた保全管理計画に基づき、地域の宝である山崎公園里山で樹林地保全工事が1月末から始まりました。

最初は、斜面に生えた竹林によってできた崖の崩落防止工事です。竹の根は浅く広がるので、土砂を抑える力がなく、斜面では雨によって土が流され、崖ができてしまいます。山崎公園でも深い崖ができ、崩落の危険があります。そこで、竹林を間引き、間引いた竹で柵を作り、雨水を止めて横に流し、土砂崩れを防止する工事が行われました。現在、プール横の広葉樹林地の土砂流失防止工事が行われています。

また、山崎公園里山のシンボルだったヤマザクラの巨木(金の星幼稚園裏の坂道)が枯れかけています。ヤマザクラの日当たりを良くし、根に養分が回るようにし、シンボルを復活させる工事も開始されました。



土砂防止の竹の柵

## 緑道再整備ガイドライン(案)発表

都筑土木事務所が専門家、区民との協業で検討している「緑道再整備ガイドライン」の最終案が1月末に発表され、2月2日(土)に説明会が行われました。現在、意見募集が行われています。

港北ニュータウンの15キロに及ぶ緑道は、都筑区最大の自慢といっても過言ではありません。港北ニュータウン建設時に「グリーンマトリックスシステム」(緑道を主な骨格として、民間の緑地と公共の緑地をつなぎ、歴史的な遺産、水景なども結合させる空間システム)として作られ、30年が経過し、

様々な課題も出てきました。この緑道の魅力を末永く維持していくために、土木事務所、区民共通の再整備ガイドとして作成され、1)再整備と維持管理の考え方(当初の設計思想と社会変化対応、区民生活によるゾーニング、市民参加)、2)具体的な整備手法、から成り立っています。内容は「都筑区緑道再整備ガイドライン(案)に関する意見募集について」で検索ください。

3月2日(土)9時30分から、都筑区役所でどなたでも参加できる「意見募集結果の検討会」が開催されます。

## 中川駅前等のラベンダー刈込み

春に備えて中川駅前や花と香りのみちのラベンダーの刈込みが行われました。中川駅前のシンボルともいえる美しいラベンダーが花を咲かせるためには、毎年、晩秋か冬に刈込みをする必要があります。1月の中川ルネッサンスプロジェクト活動では、延べ7人が刈込みを行いました。

今は、緑がなくなり寂しいですが、4月頃にはきれいな緑が復活し、6月には紫の花が咲くことを期待しています。



刈込みされた駅前ラベンダー

## 私の一言「安全な自転車運転」

子どもと「花と香りのみち」をよく散歩しています。2歳の息子は保育園の帰りに花壇のまわりで遊ぶのが大好きですが、自転車がスピードを出して通行しているので、何度か接触しそうになり、危険な思いをしたことがありました。夕方の時間帯は特に自転車が多く、目が離せません。子どもたちが安全に歩いたり、遊んだりできるような遊歩道になれば良いと思います。(子ども2人のママ、中川2丁目在住)

## 花壇が泣いています

マルエツからまいばすけっと前までの花壇に、犬を入れておしっこや糞をさせ、そのまま放置する飼い主がいらっしゃいます。緑と花の咲く美しい花壇は中川の象徴です。花壇の手入れをして下さる方も不快な思いをしています。汚すことはやめましょう。